

大 津 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時	令和5年12月13日（水）午後1時00分～午後3時00分	
開催場所	大津警察署 大会議室	
出席者	委員	川上昌道会長、瀧千鶴副会長、小原めぐみ委員、藤井典史委員、上下重征委員、上野康代委員、中尾文委員
	警察	署長、副署長、地域官、交通官、刑事官、調査官(警務課長)、調査官(生活安全課長)、刑事第一課長、刑事第二課長
議事概要	<p><b>【警察署協議会】</b></p> <p>1 署長挨拶</p> <p>署長から、「これまでの協議会で頂いた貴重な御意見・御提言を業務に反映し、各種活動を推進しているところである。本日も忌憚のない御意見を頂きたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>会長から、「本日は、特殊詐欺を始めとする犯罪の現状等が議題となっている。解決が難しい問題だとは思いますが、委員の皆様には積極的に意見していただき、意義のある協議会にしたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>～特殊詐欺を始めとする刑法犯の発生状況と抑止方策等について～</p> <p>警察から、特殊詐欺を始めとする刑法犯の発生状況と抑止方策及び令和5年中の主な検挙事案について説明がなされた。その際、委員から、「犯人になる可能性のある若者に対して犯罪行為のリスク等について講話する機会などを作ってはどうか。」「犯罪抑止対策に貢献した署員に対して表彰をするなど犯罪抑止活動を推進させるための取組を行ってはどうか。」旨の提言がなされ、警察から、「非行防止教室を年間60回ほど実施しており、そこで闇バイトなどを含めたインターネットの危険性について周知している。」「自転車の防犯診断や啓発の資料作成が優秀な職員を表彰している。委員の御意見を参考に、引き続き、効果的な防犯教室や署員の士気高揚に向けた施策を考えていく。」旨の説明等がなされた。また、委員から、「特殊詐欺で検挙された者は、簡単に金を手に入れようとする若者が多いのか。」「特殊詐欺の被疑者はどのような経緯で犯罪に加担しているのか。」旨の質問がなされ、警察から、「ほとんどが20歳代から30歳代</p>	

であり、SNS が入り口となっている。」旨の説明がなされた。さらに、委員から、「入口となる SNS で闇バイトに応募する若者に注意喚起することはできないのか。」旨の提言がなされ、警察から、「注意喚起のチラシを配布したり、動画を閲覧してもらうなどの様々な対策を講じているところではあるが、引き続き、若者に響く注意喚起を行っていく。」旨の説明がなされた。

そのほか、委員から、「学校の近くで傷害事件が発生し、生徒の登校時間帯だったため大変不安に感じた。危険性がない場合でも、そのことを情報発信すれば地域住民は安心できるのではないか。」旨の提言がなされ、警察から、「危険があれば情報発信するが、重要な御指摘なので、情報発信の在り方について今後の検討、課題にさせていただく。」旨の返答がなされた。

#### 4 報告

会長から、令和 5 年 11 月 16 日に開催された滋賀県警察協議会代表者会議について報告がなされた。

##### 【大津警察署文化祭の観覧】

大津警察署で開催している大津署員による文化祭作品の観覧等を実施した。

#### 5 次回協議会の日程

令和 6 年 2 月中旬に開催予定